

平成19年度第8回石狩市浜益区地域協議会議事録

日 時：平成20年 1月23日(水) 15:00～16:50

場 所：浜益支所 2階庁議室

資 料：会議次第

資料1：公共施設の有効活用について

地域協議会だより VOL.21

適沢コミュニティセンターの廃止に伴う有効活用について(意見)案

= 会議次第 =

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
 - 1) 公共施設の有効活用について【継続】
- 4 その他
- 5 閉 会

出席者：次のとおり

委 員			職 員	
役 職	氏 名	出欠	所 属	氏 名
会 長	神田 一昭		(支所) 区長	宮田 勉
副会長	岸本 教範		(支所) 部長	工藤 泰雄
委 員	羽山 勇一		(支所) 地域振興課長	赤間 聖司
委 員	河上 干城		(支所) 産業振興課長	佐藤 正巳
委 員	北村 文子		(支所) 市民生活課長	竹永 季雄
委 員	中村 東伍		(支所) 保健福祉担当課長、はまます保育園長	古川 和志
委 員	菊地 政雄		(支所) 浜益国民健康保険診療所庶務課長	木村 新吾
委 員	渡邊 千秋		(教育委員会) 浜益生涯学習課長、浜益給食センター長	渡邊 隆之
委 員	岸本 アイ		(支所) 地域振興課企画振興・広報広聴担当主査	尾崎 巧
委 員	石橋ミツ子		(支所) 地域振興課企画振興・広報広聴担当主任	藤巻 誠一
委 員	三浦 信悦			
委 員	田中 照子			
委 員	木村 武彦			
委 員	佐々木茂雄			
委 員	寺山 広司			

傍聴人：0人

1 開 会

【支所：赤間課長】

それでは、本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。只今から平成19年度第8回浜益区地域協議会を開催いたします。本日は、中村委員、菊池委員、渡辺委員、河上委員、寺山委員、岸本教範委員より、所用のため欠席される旨の連絡をいただいておりますので、ご報告いたします。本日の協議会の終了時間は、おおむね5時を予定しておりますので、よろしくご協力願

いたいと思います。それでは始めに会長よりご挨拶申し上げます。

2 あいさつ

【神田会長】

皆さん、明けましておめでとうございます。この協議会も合併時の条件で、区を設置し、協議会を設けるということで、平成17年10月に合併以来、2年を経過し、協議会も2回目の人選ということで、昨年の10月から、当協議会が、また再スタートした訳ですがけれども、この協議会、私もこの任を引き受けて、色々と考えますけれども、最初の2年は試行錯誤の2年だったと思いますけれども、今後、残されました2年間、ある程度、その具体的成果を見せる次期に入ったのかなぁと考えております。そういう面では、大変私ども責任を感じておりますけれども、皆さん共々協議をし、色々と浜益区民のために成果を出していきたいと思っておりますので、今後とも一つよろしく願いいたします。簡単ですが、ご挨拶に代えさせていただきます。

【支所：赤間課長】

続きまして区長よりご挨拶申し上げます。

【支所：宮田区長】

それでは、皆さん大変ご苦労様でございます。まず、新年始まって最初の会議でございます。新年明けましておめでとうございます。今年もまたよろしく願いいたします。今年は何れよりも正月が雪が少なく、大変穏やかな正月をお過ごしになられたかと思っております。浜地協だよりのご挨拶の中でも申し上げましたが、昨年は、国、地方共にですね、大変経済情勢が低迷いたしております。こんな中、市の方でも公共料金の見直し、施設の統廃合など、様々な改革と向き合った1年ではなかったかと思っております。正に住民の皆様につきましては、改革の痛みを感じているのではないかというふうに私思っております。少子高齢化がこれから確実に進行する中、乗り越えなければならないハードルでございます。皆様のご理解をお願いいたします。また、一方では、新システムでのバスの運行が始まりまして、住民の皆様方に大変喜ばれているところでございます。そのほか、旧浜益村時代からの懸案でございました斎場も、1月の12日に供用を開始となりました。少しずつではありますが、旧浜益村時代の課題が、解決されてきているところでございます。今後とも、一つひとつ住民の要求の実現に努力していきたいというふうに考えております。今日は、適沢コミセンの廃止に伴います施設の有効活用につきまして、前回に引き続き協議をいただくことになっております。コミュニティセンターにつきましては、機能は諸事情によりまして3月で廃止されますが、元々地域活性化のための拠点として、平成3年12月に建設された経過がございます。このような時代だからこそ、今一度原点に立ち返りましてですね、下にあります郷土資料館、それから昨年8月に設置されましたモニュメントとの一体的な有効活用が図られていければいいな、というふうに考えております。今日はよろしく願いいたします。終わります。

3 議 事

【支所：赤間課長】

それでは、これから会議を始める訳でございますけれども、協議書の規定によりまして、委員の過半数の出席が必要となっておりますが、委員15名中9名の出席をいただいておりますので、定足数が満たされておりますので、会議が成立していることを報告いたします。会議の議長は会長が務めることになっておりますので、これからの進行は会長が行うこととなります。神田会長よりお願いいたします。

す。

【神田会長】

はい。それでは、議事に入らせていただきます。公共施設の有効活用について、適沢コミセンですね、始めに、これまで2回にわたって協議検討してきた協議経過について、事務局から説明をいただきます。事務局お願いします。

【支所：尾崎主査】

はい。それではですね、お手元の資料1に基づきまして報告させていただきます。協議テーマが公共施設の有効活用についてということで、協議内容でございますけれども、今年度をもって施設廃止が予定されている適沢コミセンの取り扱いについて、地域協議会でも協議検討いたしましよというところで始めたのが経過でございます。これまでの協議経過ですけれども、第6回の協議会、昨年11月21日に開催された分です。その中では有効活用がないか、とりあえず協議しましよというところからスタートいたしまして、非常に重い議題でもありました。1、2回の協議で結論に至るのは困難ということで、2、3回程度ですね、最低でも次回以降も継続して協議していきましよということになりました。それで、とりあえずすぐその場での結論というのは、なかなか難しく、委員の方々もそれぞれの団体と、あと知り合い等、持ち帰って、とりあえず検討してみましよということで、1回目を終了しております。それで、その段階で遅くとも年明け早々、1月過ぎぐらいにですね、結論を目指ましよと、で、ただ、方向性としては、そのまま施設を閉鎖ということではなくて、何とか引き続き維持存続できる友好的な活用の候補を探ていきましよということで、1回目の会議ではその様に取りまとめられております。で、2回目ですね、第7回の協議会なんですけれども、昨年12月19日、前回ですね、この時は6回目からの継続協議ということで、その第1回目の経過から、存続に向けて考えてみましよということで、今の施設が何故廃止に至ったのかという経過を踏まえて、新たな予算を掛けないで維持すること、それと維持していくためには、それなりの収入も見込めなければ、すぐだめになってしまうだろうということで、それらを前提にして活用方法を検討しましよということになりました。それと立地条件が非常にですね、見晴らしのいいところ、景色のいいところということで、それらの利点を活かして総合的な観光案内施設と地場産品等の直売所として活用するのが望ましいのではないかという意見、それと誰でもと言いましよかね、区民が参加出来て、それぞれ特産品を持ち込んでいくという、そういう形で区民が参加出来る環境、それとそれらの例えば、水産物、農産物、色々あるんですけれども、そういう全産業団体をまとめられる機関ということで、強いて挙げれば観光協会のような、そういう団体が中心となって運営して貰うのが望ましいのではないかという形の結論と言いますか、まとめをいたしたところです。で、方向性としては、そんな形で固まったんですけれども、次回以降ということで、今日になるかと思うんですけれども、更に具体的に実現に向けて取り組むべきことを協議していきましよということで、前回締めています。で、次回以降、じゃあ、どういふこととということの中では、地域協議会として、今後どのような動きをしていくべきかと、運営団体等への働きかけ、これをどうしていくのか、それと各産業団体との調整をどう図っていくのか、そういうようなことを大いにですね、また、引き続き協議する必要もあるでしょうということで、第7回を締めています。で、本日第8回、とりあえずですね、前回から次回協議しましよという部分、項目出ししていません。それ以外にも、もしあれば、その他ということで、この辺でですね、協議を重ねていきたいなというふう考えておりますので、よろしくお願いします。以上です。

【神田会長】

それでは、只今事務局から協議経過について説明ございましたが、何かご質問ございましたらお受け

したいと思います。ありませんでしょうか？赤間課長、今までの2点について、まず質問受けて。

【支所：赤間課長】

ええ。

【神田会長】

これまでの協議経過について、第6回、第7回の関係につきまして、何かご質問ありませんか？だいたい見れば、今までの関係は、こういう議事録的なものですので、そんなにも変わった点はないと思いますけれども、何かございましたら。

【支所：竹永課長】

あの、すみません。ちょっと情報をはっきり捉えていないですけれども、前の段階で観光協会が、ある程度この中に入って行って運営をするのが望ましいので働きかけていきたいと思いますということで、ちょっとお話ししてきたと思うんですけれども、昨日の情報なので、私、確認はしていないんですけれども、何か、この観光協会については、ちょっと、この適沢コミセンについては、ちょっと辞退したい旨の何かお話しがあったような話が、ちらっと聞いているんですけれども、その辺は何か同じ身内で聞くのもあれですけれども、これは、はっきりしていかないと進まないと思います。

【神田会長】

はい。それについて何か動きがあれば。

【支所：赤間課長】

産業振興課長の方が、内容詳しいものですから。

【神田会長】

はい。

【支所：佐藤課長】

はい。これは身内の方の調整が出来てなくて申し訳ないと思っておりますけれども、実は21日、月曜日なんですけれども、市長のヒアリングがありまして、その中でですね、色々検討しました。まず、その前にですね、地域協議会の意向を踏まえてですね、観光協会の方に適沢コミセンの活用について、色々協議をしてみました。観光協会とすればですね、適沢コミセンの方に移ってですね、そこから地域の観光、市全体の観光の情報発信基地として活用することが有効な方法ではないかということで、前向きに検討してきたところがございますけれども、ただ、観光協会があそこに入ることによって76万円程度の新たな持ち出しが生じるということですね、その予算について何とか措置しなければならないということで、市長ヒアリングの方に諮ってきたところがございますけれども、やはり市としてですね、予算を計上する以上は、地域としてももう少し検討すべきではないかと、まあ、観光協会が入るにしても、どのようなテナントが入るのかと、あるいは、また、どのような物売るのか、そこら辺を地域活性化のために何が出来るのかということをもう少し整理する必要があるのではないかとということがありましてですね、今、質問のありました観光協会が辞退をしたのではなくて、更に20年度ですね、21年度の予算に向けた地域としての検討が必要ではないかということで、観光協会については、20年度は4月1日、従来どおりの運営体系でいくと、その中で地域協議会の意見等々も踏まえてですね、更に有効活用に向けた地域のより良い情報発信基地といいますか、そういうことについて、もう少し検討していきたいというふうに考えております。

【神田会長】

はい。今、観光協会の件につきましては、今、課長の方から説明がありましたので、その経過等を理解していただきたいと思いますが、そのほか何かありませんでしょうか？

【三浦委員】

まあ、観光協会が受けないというのであれば、他の受けそうな団体を模索しなければならない。そこで、すぐ黒字経営だとか、そういうものになる可能性は、まず薄い訳だから、ある程度の助成などの予算付けを市からないと、なかなか困難だと思うんですよね。それで、ちょっと聞きたいのは、1億なら1億の基金があるのだから、その基金をどういうふうに活用するかな、それをそのまま今まで、ある程度使っているだろうけれど、それを全て残すという方法でいくのか、それを吸い上げられる前に全て使ってしまうのか、使ってしまうというのは、ちょっとあれだけれども、各種団体にある程度、助成なり施設を運営していくとか、結局、基金を積んだものをそれをただ飾っておくことは良くないことだ。それで、皆さんで話し合っただけで基金をそういう施設の利用に活用しながら使っていけないとダメだと思うんですよね。それは皆さんで考えていかなければならないと思うんですけれどもね。そういうのを検討していかないとと思うんですが。

【神田会長】

はい。そこで、整理したいと思います。まず、今の三浦委員の発言につきましては、これから、今、資料の1あります。の第8回、今日ですね、これからの協議になっていくかと思えます。それで、今までの第6回、7回の報告につきましては、だいたい、こういうような骨子だということで、これで抜けているということがなければ、こういう骨子だったという報告は、これでよろしいでしょうか？

【佐々木委員】

はい。

【神田会長】

今までの第6回、7回の報告については、これで了解していただけますか？

【佐々木委員】

了解。

【神田会長】

はい。それでは、報告をこれで7回までは了解していただきました。それでですね、ちょっとこれから第8回の本日の会議に入るんですけれども、その前に第6回と7回の協議を終えまして、一応、平成19年の関係につきましては、一応、今までの報告を田岡市長の方に伝えていきたいと考えております。それで、今、事務局の方で報告の文案を用意しておりますので、それを、まず皆さんにお配りしたいと思います。

(事務局より各委員に対し資料を配付)

【神田会長】

お手元に行き渡りましたか？それでは事務局の方から、この適沢コミュニティセンターの廃止に伴う有効活用について、報告ということで、これ事務局の方からちょっとよろしくお願いします。

【支所：尾崎主査】

はい。これは、腹案なんですけれども、お手元の資料あると思います。それで、今の会議を経てということで、20年1月ということで、田岡市長あてにですね、神田会長名ということで、適沢コミュニティセンターの廃止に伴う有効活用についてということで、報告という形でします。浜益区地域協議会では、市民・行政の役割の見直しや徹底した行財政改革によるスリム化など、具体的な取り組みで石狩市の危機的な財政状況を改善し、将来にわたって安定的なサービスを提供できる財政基盤を構築するために、平成19年3月に策定されました『石狩市財政再建計画』に基づく取り組みとして、平成20年3月をもって施設廃止を予定している適沢コミュニティセンターの取り扱いについて、平成19年11

月より延べ3回にわたり協議を重ねて参りました。当協議会で協議した内容を次のとおり報告するとともに、今後も同施設が有効に活用されることを強く願うものであり、引き続き、有効活用について協議を重ねて参りたいと考えております。まず、基本的な考え方ですけれども、区民の創意と工夫により開設した施設でもあることから遊休させることなく、さらに施設廃止に至った経緯などを鑑み、新たな施設改修等を伴わず有効活用することが必要と考えます。(1) 観光施設としての位置づけ、風光明媚な立地利点から、区の総合的な観光案内施設として活用することが望ましいと考えます。また、いしかりiロードプロジェクトの一環として、隣接する「浜益ふるさと公園」に設置した新モニュメント「Lovers' Ocean」との一体的な活用を図ることが必要と考えます。(2) 観光振興と施設の維持、今後、長期的に施設を維持運営するためにも、農畜産物や水産物などをはじめとした豊富な地場資源の販売を手がけるなど、収入が見込め、区民が参画できる体制づくりとともに、都市住民との交流拠点と成りうるような活用が望ましいと考えます。(3) 管理運営団体、管理運営にあたっては、農業、漁業、商業など単体にこだわることなく、総合的な地場資源の取り扱いが可能となるような法人、団体等が管理運営することが最良と考えます。以上ということで、こういう形での報告ですね、これまで協議した報告を一旦、中間報告という形ではどうですかというような形で、ちょっと腹案としてまとめてみました。以上です。

【神田会長】

はい。ご苦労様です。今、事務局の方から朗読していただきました。この活用についての報告、これにつきましては、先程、産業振興課長の方からも報告がありましたけれども、観光協会の方で入るという関係につきましては、76万円程の費用が必要ということで、具体的活用内容が、まだ示されないうちは、ということでしたけれども、今後、そういうことを踏まえまして、第8回目の今日、地域協議会としてどのような働きかけをしていくべきか、運営団体への働きかけ、各産業団体との調整、そういう関係を今日これから協議していただくわけですけれども、そういう関係で今日協議しても、当然、結論から何から、そういうものは見えてこないと思いますけれども、こういうような関係を今協議していますよということで、第1回目の報告をこのような文面で市長に報告したいと思っております。そういうことからして、今日は、これからの協議につきましては、大変厳しい課題が山積しておりますけれども、そういうことで、決められた時間内ですけれども、これから皆さんと休憩の中でフリートキングをしていきたいと思っておりますので、一つこの関係について、よろしくお願ひしたいと思っておりますけれども、こういう関係で進んでいってよろしいでしょうか？

【佐々木委員】

はい。

【神田会長】

よろしいですか？

【三浦委員】

はい。

【神田会長】

それでは、その関係を終えまして、報告書につきましては最終的にこの文言でいかどうか、これを最後に諮りたいと思っております。それでは、これから休憩に入りまして、この3課題につきましては、フリートキングで色々協議を重ねてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。それでは休憩に入ります。

(休憩)

【神田会長】

それでは、本会議といたします。今日はフリートーキングということで、ある程度、話を出して貰いました。そういうことで、今日までの意見を踏まえまして、先程、皆さんにお渡ししました、適沢コミュニティセンターの廃止に伴う有効活用についてということで、報告ということで、基本的な考え方から、1、2、3、これを書いてありますけれども、こういうことで、一応今日までの段階を市長に報告すると、そういう関係につきましては、皆さんどうですか？

【佐々木委員】

いいです。

【神田会長】

はい。それでは、無ければ、一応今日までの関係につきましては、こういう文言で、市長の方に提出させていただきます。それじゃあ、本日予定しておりました案件については終了しました。

4 その他

【神田会長】

続きまして、事務局から次期協議会の開催について報告があります。事務局お願いします。

【支所：赤間課長】

次回はですね、3月を予定したいと思いますが、よろしいでしょうか？

【神田会長】

はい。

【支所：赤間課長】

あと、日にちは3月26日水曜日、時間は何時がよろしいでしょうか？

【岸本（ア）委員】

1時30分。

【神田会長】

それでは、次期開催日は、3月26日午後1時30分からということで決定します。

5 閉会

【神田会長】

以上をもちまして、第8回浜益区地域協議会を閉会いたします。どうもご苦勞様でした。

平成20年 2月 5日議事録確定

石狩市浜益区地域協議会
会長 神田 一 昭